

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1174900553		
法人名	(有)ひまわりの家		
事業所名	ひまわりの家		
所在地	埼玉県秩父市山田2699		
自己評価作成日	平成28年8月1日	評価結果市町村受理日	平成28年10月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号
訪問調査日	平成28年9月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

暖かい家庭的な雰囲気大切にしており、ご利用者様のご家族や、地域の方々が気を使うことなく、気楽によって頂ける施設をと心掛けております。日々の暮らしの中で利用者様が安心して今までの生活と同様な生活ができる様、支援させて頂いております。常に明るく笑顔の絶えない日々を過ごしております。朝洗顔から始まり、1日に3回の口腔ケアの実施により衛生的な毎日を送っております。身だしなみとしてお化粧をなし、きれいになった後は、表情が明るくなり笑顔のなかつた方も自然にお顔がほころびます。3度の食事は季節の料理を取り入れたり、調理方法をいろいろ学び、飽きのこないおいしい調理について研究しながら、皆さんに提供しております。食事を残す方はほとんどなく、スタッフも調理することを楽しみにしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員には、利用者個々の生活歴や家族との関係から入居にいたる情報が共有され、1人ひとりの日々の状況や変化に応じて寄り添う家庭的な介護が行われている。一方、地域の方々との付き合いや自然環境を活かした「共に歩む」支援が実践されている。
 ・ご家族のアンケートでも、「本人が元気で楽しく利用させていただけるのは、介護支援専門員さんはじめ、GHの人達の暖かい指導援助で、家庭的なので感謝しています」、「いつ訪ねても親切に対応してくれます」などのコメントが寄せられ、ご家族が現在のサービスに満足されていることが伺える。
 ・目標達成計画の達成状況は、年2回の自衛消防訓練プログラムによる訓練が、近隣の住民の協力を得て継続されており、避難誘導経路や役割分担表も解り易く掲示されていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で理念を共有を常に意識し、目標として日々利用者と寄り添って、理念の実践に向ける様努めております。	利用者個々の生活歴や家族との関係に加えて、入居にいたる経緯を把握し、日々の状況や変化に応じた寄り添う介護を通じて、「…共に歩んで行きたい」との理念の実践に繋がられている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	常に地域の方々とのお付き合いを大切に考え、施設での行事など参加を促し、交流できるように心掛けております。	隣組に加入され、長い付き合いのある近隣の方々の立ち寄りが多く、定期的な小学生のコーラス部の訪問なども、利用者の楽しみとなっている。また、地域の多くの祭りを観に出かけることも多く、双方向の交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	常に地域へのアンテナを張り、情報提供や、相談などにものり、対応するように心掛けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設運営をして行く上で皆様方の支援が必要であり、常に取組状況などを、報告し皆様と交流を図りながら、意見交換をして施設の向上に向ける様努めております。	定期的な開催を目指し、事業所の催しや避難訓練などと併せて開催し、家族や地域代表・地域包括支援センターなどの参加を得て、利用者や事業所の状況報告と意見や情報の交換が行われている。	開催日や事業所の催しとの兼ね合わせなどの検討により、年6回の定期的な開催の定着が期待されます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	常に問題や困難なことがあると、ご相談にお伺いしたり、担当者のご意見を拝聴し、より良い施設のケアサービスに向ける様、協力関係を築くよう努めております。	ケアマネージャの交代に伴う質問や各種の報告に対して的確な回答をいただいている。また、市立病院には市の職員が常駐され、医療の相談にもその場で迅速に対応していただいている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに向けての介護を行い、日頃スタッフ間の連携に努めております。	市主催の身体拘束・虐待の研修会には職員全員が参加し、理解と意識の共有を図られている。また、どうしても職員が目が届かない時のみ、玄関の施錠がされていますが、最低限になるよう取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に対して職員間で学び、情報を共有しております。現在までは問題ありませんでしたが、今後も問題がないようにスタッフ間の連携を強調するよう努めてまいります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者、個々のご家族の状況により判断して、個々の必要性を話し合う。又スタッフ全員で日常自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者及びご家族が契約する際には、納得がいくまで、説明、話し合いを持ち、十分な理解をされているか？見極めて対応しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方が面会に見えた時には、必ず交流する機会を持ち、話し合い、ご希望や、問題点など話し合って対応し、より良いケアに向ける様努めております。	利用者には日常の関わりの中で、家族とは来訪が多いので、その機会にコミュニケーションを深め、利用者が直接話し難いことの把握にも努め、汲み取られた意見や要望は、日頃のサービスの向上に活かされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見、個々にまた会議などを通じ、問題点などを話し合って対応しております。	ベテランの職員が多く、自由に意見が言える雰囲気がある。また、勤務に融通性を持たせたり、利用者に職員の名前を覚えてもらうための提案など、できることはすぐに取り入れ効果を上げた事例も見受けられる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に心掛けておりますが、問題点があるときはその都度早急に対応に応じる様努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会が地区の勉強会などは積極的に参加するよう指導しております。そして介護に対する理解と情報を深めて頂きたいと考えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	郡市のグループホーム協議会の集まり、研修会、勉強会に参加して、交流の機会を図り、同業者とサービスの質の向上に向けて意見交換をしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者の訴えや、希望事に傾聴してストレスと鳴らないように、スタッフ一同協力して、信頼関係に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とコミュニケーションを取るよう努めております。そして安心と信頼を築き、何でも話し合える環境であることを大切に心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応の見極め、ご利用者にとって何が必要か？、どんな支援が良いのか？、様々な方向視点から判断して、対応する様に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、ご利用者様の個々の人生や、今までの生活などを見極めながら、人生の先輩として、接しております。そして共に生活し、学び教えを頂いております。そして良い関係づくりに努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との対話を心掛けて問題解決に努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	この件に対してもご家族と相談し対応しております。様々な問題が生じて参りますので、常に慎重に対応する様に心掛けております。	近所付き合いが多く、友人・知人に加えて、近隣の方も毎日のように来訪されている。また、通いなれた美容院の利用や医院の通院なども、利用者の状況に合わせた支援がなされ、馴染みの関係が維持されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係に問題が生じると、日常生活の中に支障が生じますので、常に個々の関係を見極める様に努めております。又スタッフ間が常に連携を取り、全員情報を共有してサービスする様に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も何かと相談されたり、施設に訪問あり、良好な関係を保っております。		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご希望などはできるだけ把握し、ご本人の意思に沿う様対応しております。	利用者の話に耳を傾けると共に表情や行動にも注意をはらい、一人ひとりの思いやこだわりが汲み取られている。また、叶えられることは叶える工夫をすることにより、本人本位の支援に繋がられている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用様ご家族様より、生活歴、社会歴については、なるべく有りのままに、話して頂けるよう仕向け、そして生かしていける様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の引き継ぎの時に、情報交換を行い、毎日個々の身体的、精神的な変化など細かく話し合いを重ねております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様個々に合った、介護計画がなされる様に、皆で意見やアイデアを出し合える様、意見交換の場を設けております。	職員全員によるモニタリングが行われ、それを基に利用者や家族の意向も聴き取って、カンファレンスが実施され、現状に即した介護計画が作成されている。また、見直された介護計画は日々のケアに反映されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の重要性、日々何気なく記録していることが、後に重要事柄であったと、気付くことが多々ありますので、常に記録は慎重に、今後の計画などの見直しに役立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の気持ちやご家族の状況を踏まえ要望に応じるように努めております。日常的に柔軟な対応に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の行事等において、なるべく地域の方にも参加して頂くように心掛けております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設の隣がクリニックであり、主治医と話し合い、又々に診察、処方して頂いております。尚時々ご家族に相談しながら、受診しております。	徒歩でも車椅子でも通院できる近所の協力医と連携が図られ、すぐに相談や受診が可能である。また、他の専門医は、利用者の様子を伝えるために職員付添いで受診が行われ、適切な支援に繋がれている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医が施設の隣であり、体調不良時には、直ぐに相談し情報交換しながら、対応しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人やご家族に安心して頂ける様に、状況に応じた敏速な対応が必要となりますので、常に病院の相談員とは連絡を密にし、良い関係を感じ、何かと相談にのって頂いております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者もご高齢でありますので、急変ということを常に念頭に置き、ご家族と十分な話し合いをして、どうされるのが一番良いのかと考慮しながら、対応しております。	入居時に終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族の意向を最優先に、必要に応じてその後も話し合いを重ね、最適と思われる支援に努められており、近所の協力医療機関の医師と看護師の協力を得て、看取りにも対応されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常に何が起きるか？を意識しながら、又応急処置の対応を冷静にできる。定期的訓練を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員全員、災害時の任務分担があり、連絡網に従う。尚地域の方にも参加して頂き、年2回の火災訓練の実施も行っています。	夜間想定を含め年2回の自衛消防訓練プログラムによる訓練が、近隣の住民の協力を得て継続されている。また、防災マニュアルが整備され、火災時の避難誘導経路や役割分担表もリビングに掲示されている。	火災時の訓練の継続やマニュアル類の整備がよくなされていますが、地震や大雪など他の災害に対する対応にも取り組まれることが期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報、プライバシーを損ねる言動に十分注意し、職員全員に徹底することに心掛けています。	1人ひとりの利用者のできることを尊重し、できることは行っている。また、他人に知られたいくないことや触れられたいくないことには注意を払い、尊厳とプライバシーを守ることに配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症という点に配慮しながら、ご家族との話し合いの中で自己決定できるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の個性を大切に、その人らしく生活できるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	午前中の10時ティタイム後髪の毛をとかしたり、軽なお化粧をしたり、全体的に清潔感が有る様に心掛けております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地域の方々、スタッフの方々から新鮮な野菜を頂き、一緒に舌越し来をして、月に合わせた料理をして、楽しい食事ができる様に心掛けています。	管理者を中心に献立が考えられ、調理専門職員により季節の食材を用いた食事が提供されている。また、地元の野菜の差し入れが多く、利用者と一緒に下ごしらえを行うなど、食事の準備も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じた食事の量、栄養、バランスを考えて一人ひとりの状態に応じた、食事摂取を日々考えております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に3回訪問歯科を受け、口腔内の清潔保持をして頂いております。歯科医師の指導のもと、口腔ケアの大切さ、人体に及ぼす影響など、常に気を配って、毎日3回のケアに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様の排泄状態を把握し、夜間帯は、ポータブルを使用しても、日中はトイレ誘導をするように徹底しています。	排泄パターンを把握し、適切な声掛けを行うことで、トイレでの排泄を原則とされている。また、入院などで身体機能が低下しても、状態を見ながら時間をかけて、トイレでの排泄が可能となるように支援に取り組まれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘のご利用者様は自力歩行の方は比較的少なく、主治医に相談、各々に合った薬を処方して頂くこともあります。水分、食事面、運動など気を付けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴により利用者の方も「さっぱりした」と喜んでます。清潔を得るうえでも保湿の面もあり、楽しく入浴しています。	週3回の入浴を原則とし、できることには手を出さず利用者1人ひとりのペースで入浴していただくと共に、状況に合わせて二人体制での入浴介助も行われており安心して入浴を楽しんでいただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	9名のご利用者全員が眠剤を服用しておりません。なるべく自然に安眠できるように心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に主治医と相談しながら服薬しております、服薬に関しては職員全員に服薬の説明、日付なども確認、把握しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	現在のご利用者様はほぼ全員歌が好きです。毎日大きな声を出して唄っております。楽しく笑顔を絶やさずお元気です。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気分転換に皆でドライブに行ったり、近くの農作物売場のテイルームでゆっくりくつろいで、牛乳を飲んだり、おやつを食べたり、季節の花々にも目を向けたりしています。風が気持ちが良いとか楽しんでおります。	近隣の方々と気軽に交流できる日常の散歩や買い物に加えて、お祭りやドライブ、季節の花見など、地域の環境を活かした外出支援が行われている。また、車椅子利用者が多くなったことに対して、利用者の状況に合わせた外出の工夫もなされている。	地域のよい環境を活かした外出支援が行われていますが、高齢化・重度化に対応した外出のあり方についての検討、工夫がより進むことが期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が何か欲しい物がある場合は、ご家族の方と相談して購入していますが。基本、立て替えなので個人がお金を持つことはありません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内から屋外が見えるため、「庭の花がきれいだね」、「今日は風があるね」とか、思い思いに話されています。窓ガラスから光が差し込み、開放的でゆったりと過ごしております。	民家を基にして作られた建物は、リビングルームとダイニングルームが別々に設けられ、利用者は思いおもいにゆっくり過ごしたり、レクリエーションに興じることができる。また、モップかけなど車椅子の利用者も一緒に清掃を手伝っていただき、居室を含めて清潔に維持されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室を囲んで一回りできる様になっておりますので、進んで歩行練習をしたり、ホール、食堂を行ききし、自由ですので伸び伸びと過ごしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体的に居心地の良い設定になっております。ご自分の居室に居たり、ホールに行ったり、皆さんで仲良く、和気あいあいと過ごしております。	クローゼットも広く、でっぱりのない室内は、利用者の状況に合わせた家具や日用品の配置を工夫し、動き易く、すっきりとした中にも、プライバシーに配慮された居室作りに努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	朝ご自分で各々モップを持って掃除をする人、職員と一緒に掃除に参加する方。居室、廊下等毎日日課として、楽しそうに行なっております。		

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名:ひまわりの家

作成日:平成 28年 10月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を生かした取り組み	開催日や事業所の催しとの兼ね合わせ年6回の定期的な推進会議を開催する	年6回の開催に向けて、事業所の催しや、避難訓練に合わせて、家族や地域の代表、地役包括支援センター等の参加を促し、利用者と事業所の状況報告、情報や意見交換をする	12ヶ月
2	35	火事、地震、台風などの災害対策	災害発生時に全ての職員が、利用者の避難誘導ができる	災害時に利用者が安全に避難できるように、防災訓練や、地域の代表者に情報を得て避難場所や避難方法を検討し職員全員が避難誘導の方法を身に着ける。又地域の方々にも訓練に参加して頂き、協力体制を継続する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。